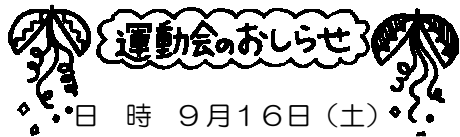


平成29年 9月の園だより



日時 9月16日(土)
9:00~12:00
場所 熊野町民グラウンド
雨天の場合

熊野町民体育館



今年の運動会も保護者、祖父母、地域の皆さんにも参加していただき、みんなで元気いっぱい運動会を楽しみたいと思います。ぜひ、ご家族お揃いでお越しください。

お年寄りを大切に

敬老の日とは昭和41年から国民の祝日(9月15日)に加えられた祝日です。現在では、9月の第三月曜日に設定されています。

「多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」だけでなく、すべての国民が高齢福祉について、関心と理解を深める日であると言えます。

園では、子どもたちに「おじいちゃん、おばあちゃんがいたから、お父さんお母さんが生まれ、自分たちがいるんだ」ということを伝えていきます。

お年寄りを尊敬する気持ちが育って欲しいと願っています。



秋の七草

「秋の七草」とは、はぎ、おはな、ききょう、なでしこ、くさ、ふじはかま、おみなえしです。特別な行事はありませんが、草花を見ることを楽しむ機会にしましょう。保育園の萩の花も、花が咲き始め、もう少しでトンネ(い)にないそうですよ。



シンガポールの幼児教育に学ぶ

今年の夏は暑くお天気の日も続き、例年になく水遊びのできる日が多かったように思います。乳児クラスの子もプールに入ることを楽しみにし、毎日水に触れて様々な遊びを楽しみました。幼児クラスは、もぐったり、年少クラスの子たちでさえ顔を付けて泳いだりして、水を恐れることなく全身で水遊びを楽しんだようです。大きなけがもなく無事終わることができほっとしているところです。自分たちが作りたいかだや船をプールに持ってきては、浮かべてみたり、友だちと一緒に乗ったり、引っ張り合ったり。セロテープがとれ、「船がこわれた～」と泣く年中さん。空き箱で作った船は「沈んでしまった！」と残念がる子も。「どうしたらいいかな？」と考えながら何回も作り直す子どもたちでした。失敗しても、もう1回やってみようとする気持ちが大切です。

先日、シンガポールの保育園を見学する機会をいただきました。「アメージングスター」というモンテッソーリの教育を取り入れている、ショッピングモールの中にある保育園、「プレミアム」という親子で制作活動が楽しめる施設、「オデッセイ」というイタリアのレジオエミリアの教育を取り入れた幼稚園の三つの園です。それぞれ個性的で素敵な施設でした。

シンガポールの教育で大切にしていることは、

1. 幸福感と自信(遊びを通して・勉強を通して)
 2. 科学的根拠に基づいたカリキュラム
 3. 個人の独立心と探求心(なぜ・どうして・あれ知りたい・これやってみたい)です。
- そして、シンガポールでは10歳の時に受験があり、そこで進路が決まるのだそうです。だから幼児教育にはとてもお金をかけていますし、多民族国家なので、英語や中国語も幼稚園、保育園でも教えてもらっていました。勉強が苦手でも、専門職として、あなたしかできないことがあると道が開かれており、技術を磨いてその道のプロになるという選択もあります。小さい頃からしっかり褒めて育て、「あな

たはすばらしい」「そんなところが素敵」という関わりをしているので自己肯定感が生まれ、日本のようなひきこもりはないのだそうです。

私が一番感激したのは、「プレミアム」という施設でした。建物の外観から素敵でなんだかワクワクドキドキしました。中に入るとさらにびっくり！大人の私でさえ、やってみたい、遊んでみたいと思える素敵な環境の作り方でした。私たちが目指している保育と似ているなと思えました。たくさんの素材がありましたが、それはいつも園で使っているものと同じようなもの。その準備の仕方、環境の整え方に違いがありました。子どもがどうやって楽しめるか職員の話合いがしっかりされていましたし、何を気付かせ、どんなふうにあそびが展開していくか想像しながら、子どもが主体的にあそび込めるような環境の作り方に工夫がありました。そして何より大人の遊び心が感じられました。できるところから園に取り入れ、子どもが様々な経験をし、失敗をしながらも繰り返し粘り強く取り組み、成功した時に側にいる大人が「やったね！」と同じ気持ちで喜んであげることで子どもたちの何かをやりたくなる気持ちを育てていきたいと思いました。

シンガポールは暑い国ですが、大きな木がたくさん植えられ、至る所にきれいな花が植えられ、国全体が整備されとてもきれいな街でした。くまのみらいにこんな木があったら素敵だろうな、この緑の木陰もいいよねと感じながら、園全体の環境作りのヒントになり、考えているところです。

まだまだ暑い日が続きます。運動会の取り組みも始まります。子どもたちが無理なく、楽しんで運動会に参加できるよう、水分補給や休息をとりながら取り組んでまいります。おうちの方でも早寝、早起き、朝ご飯のご協力をお願いします。運動会も楽しみにしててください。

くまの・みらい保育園 園長



秋分の日 9月23日

「先祖を敬い、亡くなった人々を偲ぶ日」として制定されました。この日は昼と夜の長さが同じになり、この日を境に昼間がだんだん短くなります。この日をはさんで一週間を“彼岸”といい、お墓参りなどをして先祖を祭る習慣があります。

子育てメッセージ

「ちょっとだけ」でもいいのです。
1対1の時間を大切に

「なっちゃんがいきました。「ま、ま、”ちょっとだけ”だっして・・・」

これは「ちょっとだけ」という絵本でなっちゃんがママにお願いしている場面です。なっちゃんはお姉ちゃんになったばかり、小さい赤ちゃんには手が届かぬため、お母さんは赤ちゃんに付きまとい、なっちゃんは何でも自分でやろうと頑張ります。お母さんは「ちょっとだけじゃなくて、いっぱいだっしたいんであがいいですか」と答え、たっぴい抱っこしてもらおうというお話です。兄弟のいる子育てをしている家庭では、こんな場面がたくさんあります。こんな風にしっかり抱きしめるなどその子だけの時間も大切です。そうすることで子どもはさらに一歩自立へと歩みだせるのです。

子育てを元気にする言葉より

大豆生田 啓友

